

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	あかほしまゆみ 赤星まゆみ	所属・職名	子ども学部・子ども学科・教授
専門領域	教育学	学位称号	修士(教育学). 1981 (昭56)
最終学歴	広島大学大学院教育学研究科博士課程前期 (教育行政学専攻) 修了		
資格・免許等	中学校教諭一級普通免許状 (社会) 取得 高等学校教諭一級普通免許状 (社会) 取得		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	「保育原理」, 「教職論」, 「カリキュラム論」, 「子ども学総論」, 「基礎演習あすなろう」, 「総合演習」, 「子ども学演習」, 「卒業研究」		
教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等	<p>○ 教育方法の実践例</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ライフヒストリー」の聞き取り調査や「自分史」の記述を取り入れた授業：学校教育がそれぞれの人生にどのように関わっているか、子育ての方法が昔と今でどう違うのか、社会の変化と子どもの育つ環境の変化を知るため、身近な特定の人への聞き取り調査によるライフヒストリー調査や自分史作成を指導した。その際、インタビューという調査方法の指導も倫理的配慮を含めて行うように努めた。（「教育学Ⅱ」「教師論」「家族援助論」「教育課程論」「保育原理」など） 2. 学生の自主的な学習・調査に基づいたグループ（個人）発表（プレゼンテーション）、PPT発表、ポスター発表を取り入れた授業：学生の積極的な関わりと学習の成果を見える形にするため、学生自身のグループや個人でのテーマに基づいた調査・研究の取り組みを行わせ、口頭発表、パネルディスカッション、ポスター発表やPPT発表をさせた。発表後は自己評価（ふりかえり）を実施する。（「教師論」「国際問題論」「家族援助論」など） 3. ワークシートを作成し、活用した授業：すべての授業で、授業内容の理解と整理を進め、確かなものにするため、ワークシートを作成し、活用している。とくに学生の授業への参画を促し、学生自身が学習作業を確実に行うように考えて行った。ワークシートや配布資料をもとにノート(授業における学習ポートフォリオ)を編集させる。 4. 「ブレーン・ストーミング」「KJ法」の手法の援用、及び、これらの技法を用いる「問題解決の6段階」の指導を取り入れた授業：効果的な問題解決の手法、とくに対立を回避しながらよりよい解決案を模索するための方法として試みた。（「教師論」「教職総合演習」「教育行政論」「国際問題論」「教育学Ⅰ」「保育原理」など） 5. 「アイスブレイキング」「アクティビティ」「ふりかえり」を用いた模擬授業（体験学習の試み）の指導と実践による授業：体験的な学びを組織するために、模擬授業として指導案作成と教材作成を義務づける。その際、潜在的カリキュラムである人間関係づくりのための「アイスブレイキング」、体験的活動による学習の形態である「アクティビティ」の実践を指導した。教育・福祉・看護・保健の領域で必要な知識・スキルとして習得させるように指導した。（「教職総合演習」「国際問題論」） <p>○ 教材の開発</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『確かな学力と豊かな学力—各国教育改革の実態と学力モデル』ミネルヴァ書房、2007年2月：「教育課程論」の参考図書とした。 2. 『世界の幼児教育・保育改革と学力』明石書店、2008年5月：「比較保育・教育学」の参考図書とした。 3. 『新教職概論』学文社、2008年9月：「教師論」のテキストとして使用した。 <p>○ 教育改善活動等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. FD委員（2009年度-2010年度）として、FD研修会の企画等に携わり、授業研究会に参加した。 		

職務上の実績に関する事項

研究業績等に関する事項

《平成19年度～平成23年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
(著書)			
1. 確かな学力と豊かな学力—各国教育改革の実態と学力モデル	共著	ミネルヴァ書房	平成19年2月
2. 世界の幼児教育・保育改革と学力	共著	明石書店	平成20年5月
3. 新教職概論	共著	学文社	平成20年9月
4. フランス教育の伝統と革新	共著	大学教育出版	平成21年3月
(学術論文)			
1. フランスの初等教育システム—就学前教育と小学校教育の間の問題	単著	熊本県生活科・総合学習教育学会『生活と総合』第7号	平成19年12月
2. フランスにおける幼小移行の問題—学習期制による9年間一貫教育のシステム	単著	『日仏教育学会年報』第14号	平成20年3月
3. フランスにおける幼児教育・保育	単著	『子どもの文化』第41巻8号	平成21年8月
4. フランスにおける地域とかわる子どもの学び	単著	熊本県生活科・総合学習教育学会『生活と総合』第10号	平成23年10月
(その他：研究ノート、翻訳等)			
1. 初等学校教育をめぐる最近の問題—教育高等審議会の「初等学校の総括報告書」(2007年)を通して—	単著	『日仏教育学会年報』第14号	平成20年3月
2. パリ市立ヴィトルーヴ学校のこと	単著	『広島日仏協会報』第183号	平成22年12月
3. 〈現代フランスの一断面〉日本人の書いたフランス子育て事情の本を読む	単著	『フランス教育学会紀要』第23号	平成23年9月
4. アニマトゥール：フランスの社会教育・生涯学習の担い手たち	共著	明石書店	平成19年12月
(学会発表)			
1. (2007年度研究大会シンポジウム報告) フランスにおける幼小移行の問題—学習期制による9年間一貫教育のシステム—	単独	日仏教育学会・愛知県立大学共催(愛知県立大学)	平成19年10月
2. フランスにおける幼小教育の連続性—小学校の落第問題と教育システムの改革を通して—	単独	日本比較教育学会(東北大学)	平成20年6月
3. フランスの新教育運動と実験学校(1)—グルノーブル市のエコール・デ・シャルムの実践を中心に—	単独	日本教育方法学会(香川大学)	平成21年9月
4. フランスの新教育運動と実験学校(2)—異学年混成学級の教育実践—	単独	日本教育方法学会(国士舘大学)	平成22年10月
5. フランスにおける初等学校教育改革の最近の争点—幼小移行を中心として—	単独	日仏教育学会(十文字学園女子大学)	平成22年10月
6. (講演) フランスにおける地域とかわる子どもの学び	単独	熊本県生活科・総合学習教育学会(熊本大学)	平成23年1月
研究助成等	1. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)一般 教育学「フランスの初等学校における教育方法の革新運動の系譜と学習の協同」(18530640)、(平成18-平成19年度)、研究代表者 2. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)海外 教育学「フランス公立初等学校における教育方法革新運動の系譜—学校とコミュニティの協働—」(20402058)、(平成20-平成24年度)、研究代表者		

学会及び社会における活動等

○ 現在所属している学会

日本比較教育学会、フランス教育学会、日本保育学会、日仏女性研究学会（日仏女性資料センター）、日本教育学会、日仏教育学会（理事、平成15年～現在に至る）、世界幼児教育保育機構(OMEP)日本委員会、日本生活科・総合的学習教育学会、熊本県生活科・総合学習教育学会（常任理事、平成19年～現在に至る）、日本教育方法学会、中国四国教育学会（編集委員、平成23年度～現在に至る）

○ 社会的活動

「くまもと子育てトーク」（熊本県・熊本日日新聞社）実行委員，監事（平成16年5月～平成22年2月）